

農業者の支援など

アナ： 『市長が語る2023三島』第15回の今日は、「農業者の支援」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 三島市で農業というと、「箱根西麓三島野菜」が有名ですね。

私もいつもおいしい野菜をいただいておりますが、最近の報道では、円安やウクライナ情勢などで、電気代や燃料代のほか、様々な資材が高騰していて農業従事者の方が大変だと聞きます。

三島市ではどのような状況でしょうか。

市長： 私も「箱根西麓三島野菜」をよく食べます。

市役所には「ベジメータ」という野菜摂取状況を測定する機械がありまして、私も測ってみたところ「A判定」という一番良い結果が出ました。これも、地元においしい野菜がたくさんあるおかげではないかと思っております。

ところで、三島市の農業従事者の方の状況ですが、電気代や資材の高騰により、農畜産物の生産や出荷にかかる費用が増え、やはり厳しい状況にあります。

そこで、三島市では昨年度、肥料価格等が値上げされたことに対しまして、国に先んじて、いち早く支援することを決めました。

この支援につきましては、今年度も継続します。

また、農業従事者の方に対しましてはその他にも、農畜産物のブランド化に対する支援、環境に優しい資材を使用することに対する支援、有害鳥獣対策に関する支援や新規就農者に対する支援など、引き続き、多岐にわたるメニューを用意して支援を行っております。

アナ： 三島市の農業従事者の方もやはり厳しい状況なのですね。

市の支援は、そのような状況の中、大変心強いのではないかと思います。

ところで、三島市では、田んぼを使って新たな取り組みを計画しているとお聞きましたが、どのような取り組みなのでしょう。

市長： 「田んぼダム」の取り組みです。

アナ： 「田んぼダム」とは、聞き慣れない言葉ですが、どういったものですか。

市長： 「田んぼダム」とは、田んぼが元々持っている水を貯める機能を利用するもので、田んぼの排水口に流出量を調整する調整板などを設置することによって、一時的に田んぼに水を貯め、ゆっくりと排水することで、洪水被害を軽減しようとするものです。

アナ： なぜ、このタイミングで「田んぼダム」に取り組まれたのでしょうか。

市長： 近年、ゲリラ豪雨や線状降水帯による短時間でのまとまった雨などを原因と

する洪水被害が増えており、河川改修のような従来の取り組みでは、時間と費用がかかりますので、農業分野において水害対策の1つとして、この取り組みを進めており、安久地区での実施を計画しているところです。

アナ： 「田んぼダム」は環境にも優しい取り組みといえそうですね。

今年度は、他にどのような取り組みを行っていくのでしょうか。

市長： 農道や用水路など農業インフラの適切な維持管理を図るため、耐震性能が十分とはいえない農道橋の補強や、佐野地区では用排水路改良工事などを実施してまいります。

アナ： 農業従事者の方に対して、ソフトの面にとどまらず、インフラの整備と
いったハードの面での支援も行ってくださっているということで
大変頼もしく感じました。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。